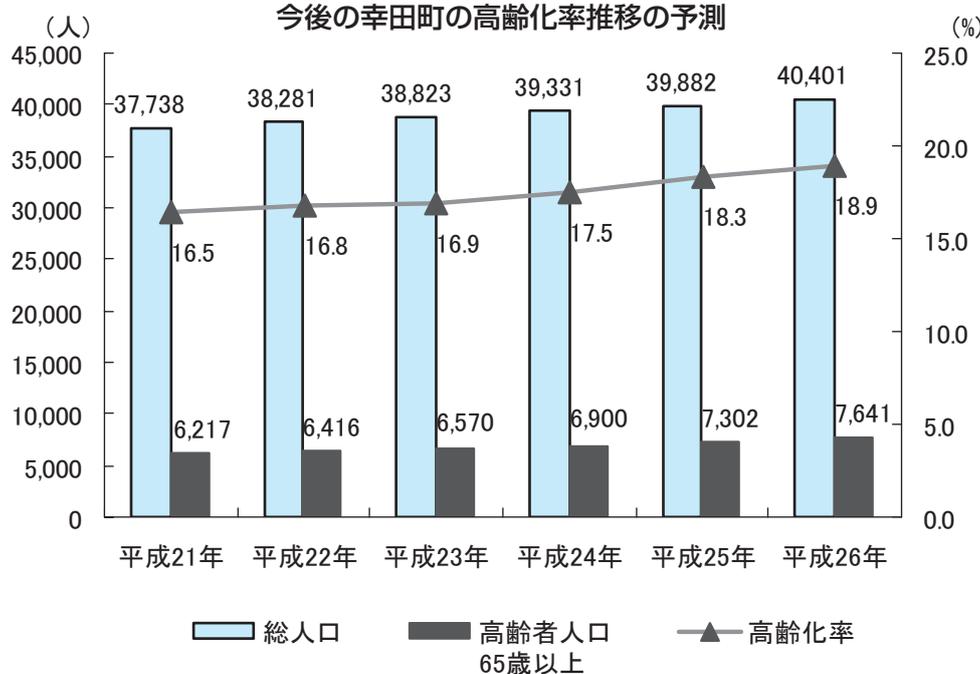


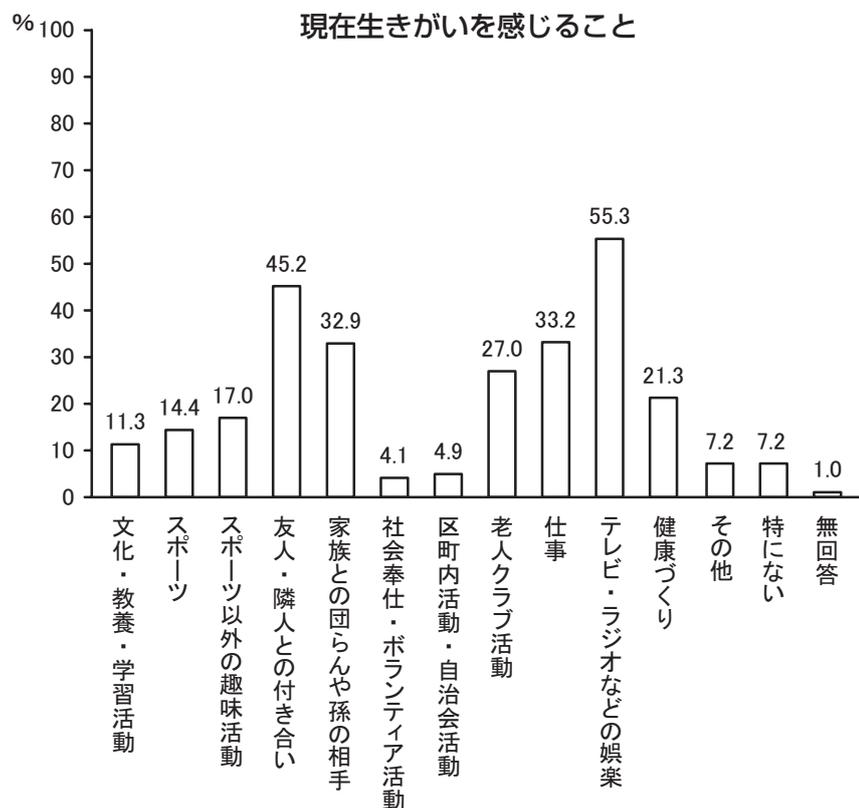
# 幸田すこやか長寿プラン21 (平成21年度～23年度版) が策定されました!

今後の幸田町の高齢化率推移の予測



今回策定した「幸田すこやか長寿プラン21」は、今後予測される高齢化率(65歳以上高齢者人口が総人口に占める割合)の上昇に対応していくうえで、地域の特性に応じた高齢者施策や介護保険制度の円滑な運営を行っていくための計画書になります。平成18年3月に策定した同プランの実施結果から各種サービスの実績と施策の進捗状況等を検証・評価し、平成26年度の目標の達成に向け、平成21年度から23年度の間に取り組みべき施策を明らかにしたものです。

現在生きがいを感じること



「幸田すこやか長寿プラン21」は「高齢者福祉計画」と「介護保険事業計画」に分けられます。まず、**高齢者福祉計画**についてですが、この計画は4つの目標を柱としています。4つの目標を達成するために、それぞれ重点取組事項や施策の項目が設定されています。

**目標1 高齢者が生きがいを持ち生き生きと活躍できる社会の実現**

社会参加の促進と高齢者の生きがいの創出として、生涯学習の充実、老人クラブ活動の充実、交流活動の充実、就労の場の確保、ボランティア活動の推進を行っていきます。

## 目標2 高齢者が健康に留意し 介護予防に取り組む社 会の実現

健康づくりの推進として、健康教育、健康相談、特定健診など健やかな生活を続けるための支援を行っていきます。

介護予防の推進として運動機能の向上、栄養改善指導、訪問指導などを行い、住み慣れた地域で生活を続けるための支援を進めていきます。

## 目標3 高齢者が尊厳を持って 豊かに暮らせるよう 地域で支えあえる社会の 実現

### 実現

交通機関などのバリアフリー化の促進、高齢者の移動手段の確保、高齢者の防犯・防災などの安全対策を進めていきます。  
認知症の早期発見、早期対応に向けた知識の周知や普及啓発を進めていきます。  
高齢者一人ひとりの尊厳を保持していくための支援を行います。  
地域福祉活動と連携し、福祉に関わる人材の発掘・育成を行います。

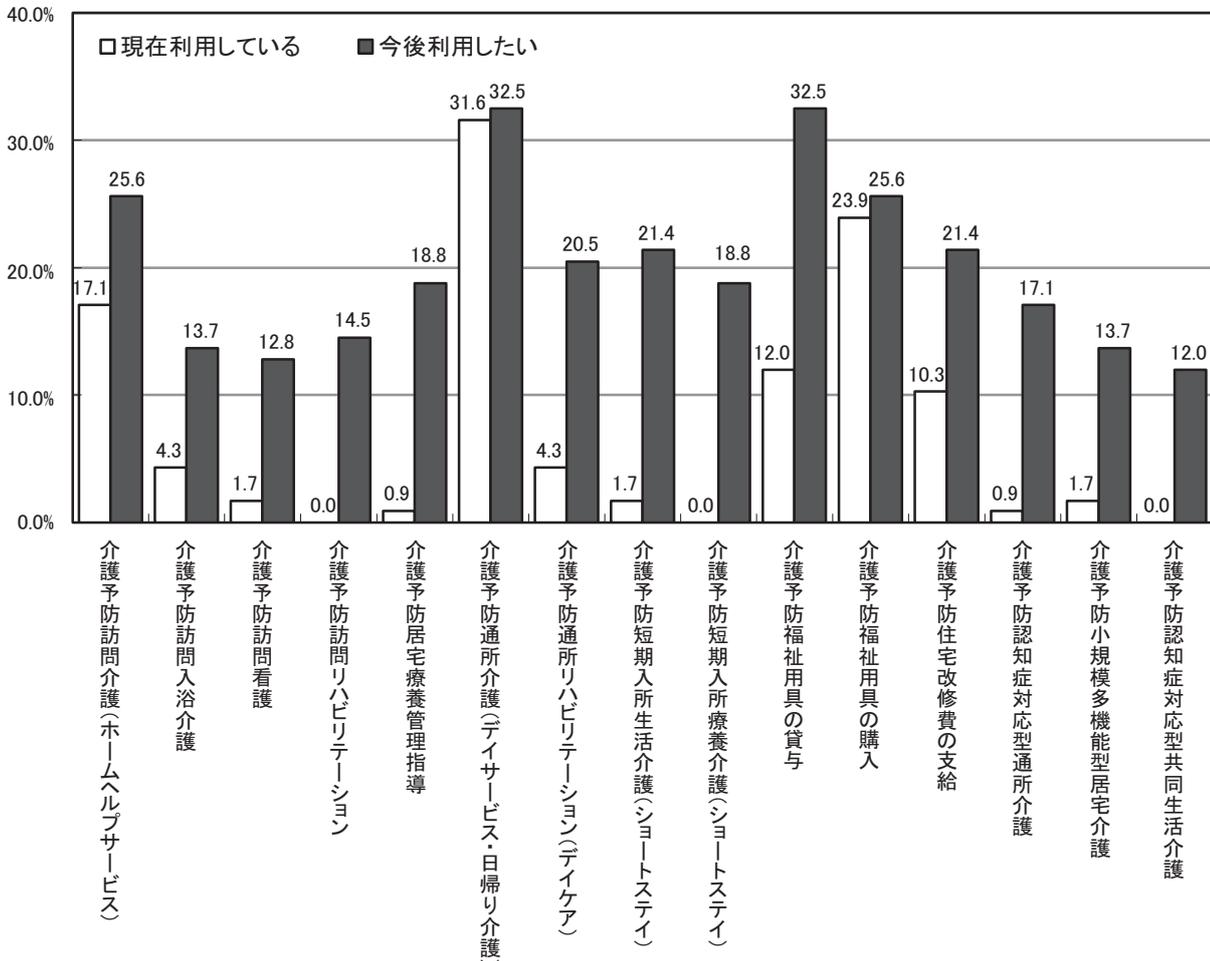
## 目標4 高齢者が明るく安心して 暮らせる社会の実現

できる限り住み慣れた家庭や地域で自立した生活を継続できるように、地域密着型サービスの提供や福祉施設サービス利用促進など進め、要援護者の自立支援のために、地域ごとにバランスの取れた十分なサービス提供の確保に努めます。

介護を要する状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らすために、居宅サービス、施設サービスの円滑な実施を図るとともに、各種サービスの質の向上や適正なサービス提供について取り組み、介護保険制度の円滑な運営に努めます。

高齢者福祉計画では「高齢者が生きがいを持ち生き生きと活躍できる社会の実現」を第一の基本目標に掲げています。そして、「高齢者が健康に留意し介護予防に取り組む社会の実現」、「高齢者が尊厳を持って豊かに暮らせるよう地域で支えあえる社会の実現」、「高齢者が明るく安心して暮らせる社会の実現」を高齢者の心身の状況や生活環境に応じて高齢者施策から要介護者施策までの幅広い高齢者施策を行っていききたいと考えています。

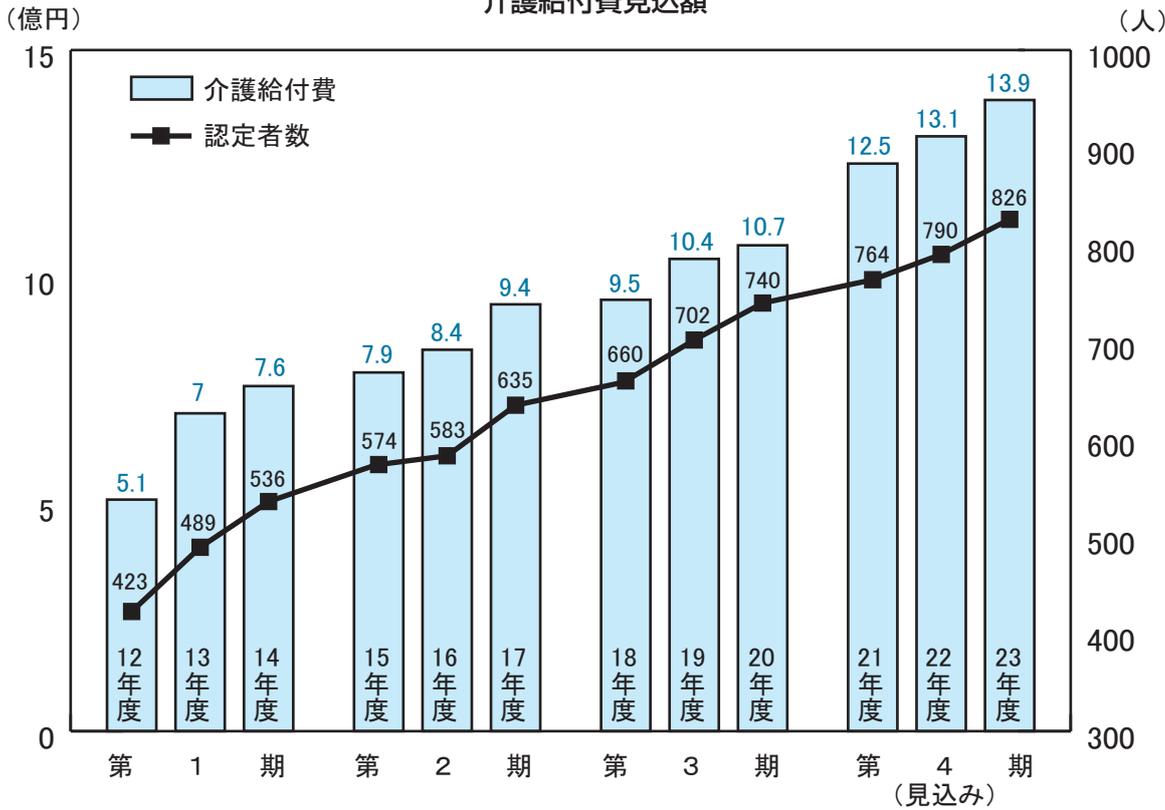
幸田町民の介護予防サービスの利用状況



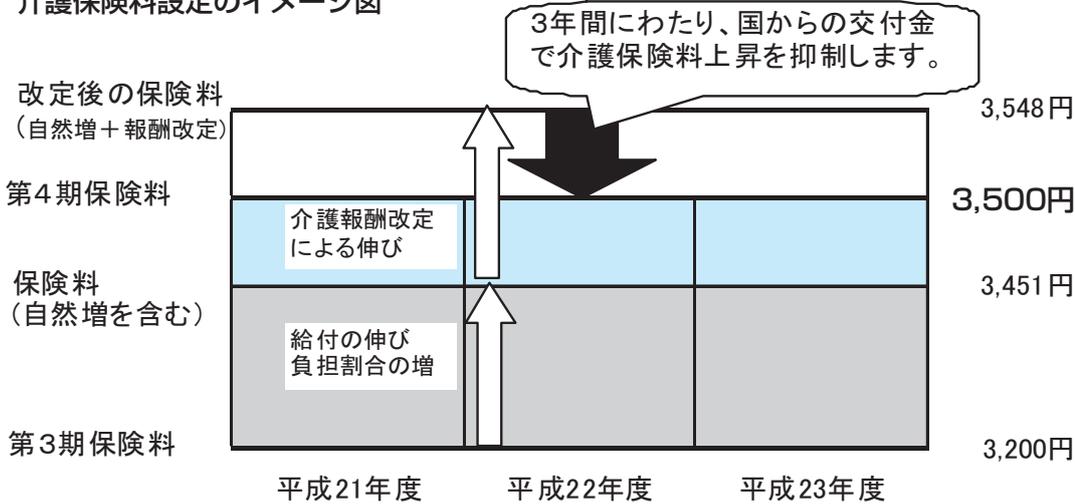
次に介護保険事業計画について紹介します。

介護保険事業計画は『平成26年度までに施設・居住系サービスにおける要介護2～5の認定者数に対する利用割合を「37%以下」、介護保険施設等の利用者に占める要介護4・5の認定者数の割合を「70%以上」にすること』を基本目標とし、今回の計画を策定しています。

介護給付費見込額



介護保険料設定のイメージ図



●平成21年度から平成23年度(第4期)の間の介護保険料について

介護保険事業計画ではその中心となる介護保険サービスや地域支援事業などが必要と考えられる給付費や事業費が見込まれています。給付費や事業費は平成21年度～23年度までの3年間で40億円ほどの費用がかかる見込みとなります。

平成18年度から平成20年度(第3期)までは介護保険料段階は6段階となっていました。平成21年度以降に

においてはより収入に応じた負担をお願いするために8段階に増やしました。また保険料そのものについては介護従事者の処遇改善のための介護報酬改定にもなう急激な保険料の上昇を、国からの交付金により抑制しています。

介護保険制度は介護等が必要な人の尊厳を保持し、能力に応じた日常生活を営むことができよう支援することを基本理念としており、その理念の実現の為、自己責任の原則と社会連帯の精神に基づき40歳以上の国民の助け合いにより制度が支えられています。本計画でも示しているように、今後、介護保険を必要とされる方は増えていくことが予測されます。今一層の介護保険制度へのご理解とご協力をよろしく願います。

今後、幸田町においてもますます高齢化が進むことが予測されます。今回の**高齢者福祉計画**および**介護保険事業計画**の各計画書はそれらの状況を想定し策定されたものではありませんが、当然、世情の変化などもありますので、計画の実行につきましてはその都度町民の皆さまのご意見をいただきながら、個人個人の生活環境や身体状況に応じた柔軟な対応を進めていきたいと考えております。

福祉の充実した町を目指すために、町民の皆さまの積極的なご意見をお待ちしております。

幸田町では平成21年度からの『幸田すこやか長寿プラン21（幸田町高齢者福祉計画および介護保険事業計画）』を策定するにあたり、パブリックコメント制度により平成21年1月～2月にかけて町民の皆さまのお考えをお聞きしました。以下、寄せられたご意見と、それに対する町の考え方を掲載します。

## ○実施概要

- (1) 実施期間 平成21年1月9日（金）～平成21年2月10日（火）
- (2) 意見の提出者数 4人
- (3) 提出方法の内訳 来庁 3人 FAX 1人

## ○意見の概要と町の考え方について(抜粋)

項目	意見の概要	幸田町の考え方
計画全体	幸田すこやか長寿プランがあることがあまり知られていない。	計画の内容を町民の皆さまに、さまざまな機会でもらって知らせたいと考えます。
第2章 高齢者の現状と将来推計	高齢者の生きがいについて、テレビ、ラジオなどの娯楽で家にいることが多いのは気持ちがわかる。	アンケートはあまり動けない特定高齢者、要支援者を対象に行ったことからこのような集計になったと考えられます。
第5章 基本目標を達成するための分野別施策	定年を迎えても、社会とのつながりを持つという意識のあまり無い人は、この計画にあるような事業が地域にあることを知らないと思われる。	計画の内容を町民の皆さまに、さまざまな機会でもらって知らせたいと考えます。
	他市の高齢者センターに行ったことがあり、卓球、カラオケ、囲碁、将棋、風呂などが自由にできて楽しかった。幸田町にもあるとよい。	老人福祉センター、高齢者ふれあいセンターの利用の促進に努めます。
第6章 介護保険事業サービスの見込み	介護保険料は県下でも低いほうだということだが、なるべく引き上げられないようにしてほしい。	基金の取り崩しや給付適正化事業等により保険料の引き上げを極力抑えていきます。

問合せ 福祉課介護保険G（内線154）